

高校生サマーリサーチプログラムの開催

主催： 医療科学類国際教育委員会

(福田綾、森川一也、Ho Kiong、沖田結花里、大林典彦、大川敬子)

協力： 野口恵美子、中川嘉、渡邊幸秀 他 (敬称略)

日時： 2018年7月30日(月)～8月3日(土)

場所： 筑波大学医学地区

参加者： 茗溪学園中学校高等学校 高校2年生 3名

茨城県立並木中等教育学校 高校2年生 2名

実施内容： 高校生5名が2つのグループに別れて、野口恵美子先生および中川嘉先生の指導のもと、それぞれの研究室で研究体験を行った。また、実験の背景や結果について、英語でプレゼンテーションを行った。本プログラムは医学医療系で開催された大学院生サマーリサーチプログラムと共同で開催した。

スケジュール：

		am	pm	
28-Jul	Sat	-	orientation & event with all participants (自由参加)	留学生(大学、大学院生)とパーベキュー(台風のため中止)
29-Jul	Sun	-	-	
30-Jul	Mon	laboratory	laboratory	基礎系の医科学関連の研究体験(遺伝医学や代謝関連)を実施します。
31-Jul	Tue	laboratory	laboratory	
1-Aug	Wed	laboratory	laboratory	
2-Aug	Thu	Preparation for presentation	Preparation for presentation	英語プレゼンテーションの指導を受けながら発表準備
3-Aug	Fri	Presentation	Farewell party(自由参加)	英語で研究体験内容の発表、その後パーティー

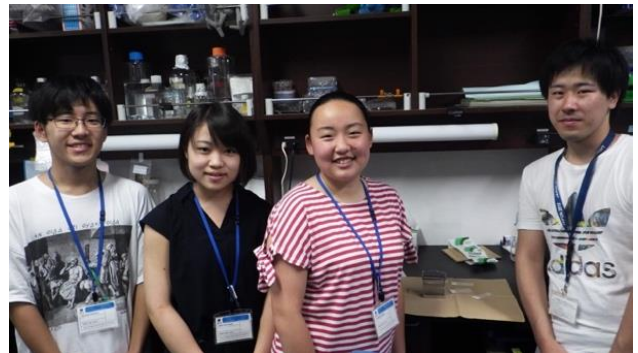
参加者の声：

今回この summer research program に参加したことによって自分の世界が大きく広がったように感じました。それは知識的な意味でもそうですが、それよりも社会的に自分の世界が広がったように感じます。私はこれまで大学生という人はどういう人なのか、大学の先生という人はどういう人なのかまったくと言っていいほど知りませんでした。知り合いで筑波大卒業生が何人かいるものの、現役の筑波大生、大学院生がどういう方達なのかを全く知らなかったのです。しかし今回の summer research program で実際に会い、話をして一緒に実験を行うことでより具体的に自分の夢を持つようになれました。それは知識の面でも同じです。これまでは何をやるのかいまいち分かっていなかった大学での医学実験も、自分達がやったことや研究室の方達から聞いたことが、それらをより具体的にかつ魅力的に私に見せてくれました。また大学の先生方から進路や夢、今後の医学についてのお話をたくさん伺うことができ、私にとって何にも変えがたい貴重な体験ができたと思っています。

今回、筑波大学で体験したことは私の将来を考えるに当たって本当に大きな影響を私に与えてくれました。本当に楽しく有意義な五日間だったと思っています。

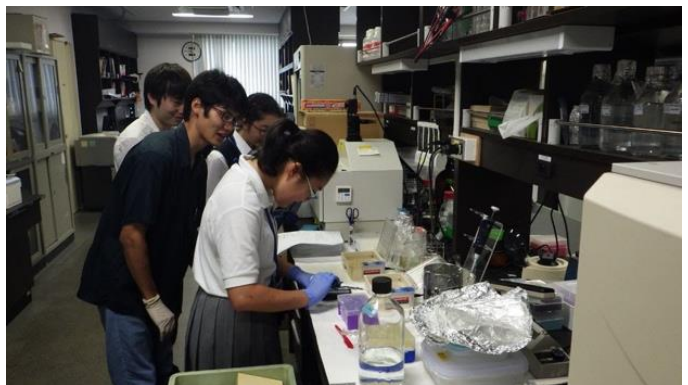
最後に、今回私たちを受け入れてくださった筑波大学並びに福田先生、代謝内科研究室の島野教授、中川准教授、研究室の皆様我心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(茗溪学園中学校高等学校 笹原実直さん)



Throughout this program, I experienced and learned things that are usually not taught in high school. My dream is to become a medical technologist, and this was my first time to visit the research laboratory of medical science. Some of the graduate students in the lab had already taken the qualification of being a medical technologist, and it was very interesting to talk with them about learning medical sciences in university and what they study in the lab. When I asked what they are studying in the lab, every one of them seemed to be very passionate about their study topics. During the research experience at professor Ms. Emiko Noguchi, our group had a lecture about the basics of medical genomics, and we read some reports relating to the subject. Even though I did not have any background knowledge about medical genomics, the plain explanation from the professor made my understanding deeper. Inside the laboratory, there were many machines that I have never seen it before, and some of it was very hard to control. There were many professors from different laboratories at the final presentation, and they gave us feedback and comments on our group presentation, and I believe that this was a good opportunity to communicate with them. Overall, this Summer Research Program in Tsukuba University interested me more in learning medical sciences in the future, and I want to make use of this experience in my studies.

(茗溪学園中学校高等学校 北村朋菜さん)



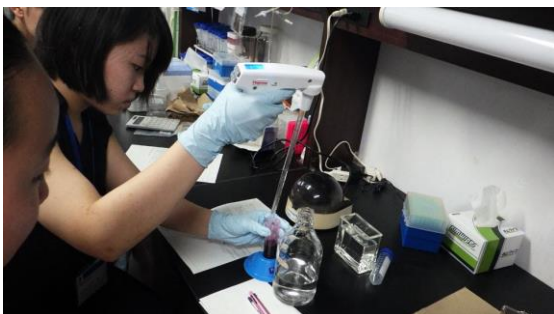
私は今回のプログラムでの経験を通じて研究活動の緻密さと繊細さに驚きました。ピペットの使い方一つを取っても、私たちが使用すると試薬をマイクロプレートに移す際に気泡が残ってしまって液量が一定にならなかったりと、一つ一つの作業に丁寧さや慣れが必要でした。その地道な作業を何度も繰り返し行う研究者の存在が科学の進歩を生み出しているのだと思うと、研究活動を行う方々の偉大さを感じ、研究ではなく臨床の医学に興味があった私も将来研究にも携わりたいと考えるようになりました。このように感じるができる充実した経験の機会を与えてくださった筑波大学の先生方、学校の先生方に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

(参加者の方より)



研究体験や英語レクチャーでの様子:

(茗溪学園の校長先生が視察に来て下さいました)



筑波医療科学 第14巻 第3号	
編集	筑波医療科学 編集委員会 磯辺智範 二宮治彦
発行所	筑波大学 医学群 医療科学類 〒305-8575 茨城県つくば市天王台 1-1-1
発行日	2018年12月11日